入学年度・開講所属	2025(R7)・工学部		科目ナンバリング			
科目名(英訳)	技術イノベーション論(Technological Innovation)　(MNG-29220J1)					
担当教員	片岡 沙都紀					
科目区分		対象学年	学部2年次	単位数	2単位	
講義形式	講義	受講人数	20名	開講時期	後期	
キーワード	技術イノベーション、イノベーション・マネジメント、技術戦略、俯瞰的視点					
授業の概要・達成目標	＜授業の概要＞ 技術イノベーション(革新)は、人類の文明発展の歴史である。本授業では、イノベーションの基礎的な概念・理念を学び、技術の観点から工学を俯瞰することで、次世代の社会イノベーションのあり方を考える。 ＜到達目標＞ ・イノベーションの基礎的な概念・理論を理解する。 ・受講生が持つ工学的な視点から、社会イノベーションを起こす方法を考えることができる。					
授業内容	第1回:オリエンテーション／序論 第2回:イノベーションの歴史 第3回:技術イノベーションがもたらす企業の栄枯盛衰 第4回:産業とイノベーション 第5回:イノベーションの定量的評価手法 第6回:アントレプレナーシップ 第7回:新製品開発のマネジメント 第8回:企業における技術戦略 第9回:イノベーションと企業間システム 第10回:科学技術・イノベーション政策の展開 第11回:イノベーション創出のための知的財産権マネジメント 第12回:イノベーションと規制・制度 第13回:イノベーションと経済成長 第14回:地域から始まるイノベーション 第15回:まとめ					
授業形式・形態及び授業方法	スライドを使用した講義の後に、理解度を確認する小テストを実施する。					
教材・教科書	各回の講義内容に沿った資料を配付する。					
参考文献	一橋大学イノベーション研究センター 編「イノベーション・マネジメント入門」第2版					
成績評価方法及び評価基準	講義に7割以上出席した学生に対し、成績判定を行う。 各回の授業終了後に実施する小テスト(50%)、レポート(50%)により評価する。60点以上を合格とする。					
必要な授業外学修	毎回の授業で学び得た事項(専門用語などを含む)を整理し、所感をまとめること。					
履修上の注意	学習効果を高めるために、積極的な授業参画を心がけること。					
関連科目(発展科目)	経営マネジメント学、技術経営論、マーケティング論、ベンチャー企業論、地域産業論			実務家教員担当	ー	
その他 学習・教育目標	地域マネジメント工学コース　2(M)-A、2(M)-B、2(M)-C					
その他 連絡先・ｵﾌｨｽｱﾜｰ	連絡先:片岡沙都紀(TEL:0157-26-9409,E-mail:skataoka@mail.kitami-it.ac.jp) オフィスアワー:随時(事前にメール等で連絡することが望ましい)					
その他 コメント	必要に応じ、授業外でも面談やメールなどでコミュニケートを図ることが望ましい。					